

# 健康と光線

## ガラス管付き集光器

サナモアを求める動機は様々ですが、口の中の病気の治療を目的に求める方は少ないようです。でもサナモアの附属品のガラス管付きの集光器（三号集光器）は、口腔内疾患の治療のために附けたのです。

サナモアの使用法を説明する時、「ガラス管は洗浄してから患部に光線が良く当るように口にくわえて使って下さい」と話すと、「口の中にも使えるのですか」「どんな時に使うのですか」と意外そうに聞き直す人がいます。しかし、サナモア光線の効果は、歯科領域でも他の凡ゆる疾患におけると同様に確認されているのです。

## 歯痛の応急手当に

夜中に急に歯が痛くなった時ほど辛いことはありません。歯医者さんは閉まっているし途方

に暮れてしまいます。

こんな時の応急手当に、サナモア光線は絶大な偉力を発揮します。カーボンはAとBを組合せて、患部に口腔内や頬から20〜30分照射すれば、大概の歯の痛みは即座に和らぎます。

但し、歯痛の原因が虫歯の場合には、自然治癒はありませんので、出来るだけ早く歯科医で治療する必要があります。

## 歯科領域へのサナモアの応用

### — 口腔内の病気にも有効 —

サナモア光線協会  
サナモア中央診療所  
医学博士 宇都宮 光明

光明

## 虫歯（歯髄炎）

### の光線療法

虫歯の痛みは、ミュータンス連鎖球菌が歯のエナメル質や象牙質を破壊し、炎症が歯髄に及んだ結果です。

この歯髄炎の治療に光線療法を併用することの利点を、歯科医の中山信平先生は次の如く述べています。

## 発行所

〒153  
東京都目黒区目黒  
4-6-18

サナモア中央診療所内

サナモア光線協会

年4回発行

会費 年500円

電話 東京(03)

793-5281

712-5322

歯槽膿漏は若い人にもありますが、加齢に伴って増加し、40歳を過ぎると殆んどの人で認めます。

初期には、歯を取り囲む歯肉や歯根膜の炎症のため、歯ぐきは暗紫色になり出血しやすく膿が出ます。この時期、時に歯ぐきが腫れて痛むことがあります。そして、徐々に進行して歯を支える歯槽骨が破壊されると、歯と歯の間にすきまが開き、歯はぐらぐらして固い物は咬めなくなり、遂には抜け落ちてしまいます。

最適な治療法である」と推奨しています。ちなみに良い歯科医ほど、極力自分の歯を残すように治療しますが、サナモアは歯ぐきの炎症を治し、歯槽骨を強固にします。歯槽膿漏の再発や悪化を予防し、抜歯の時期を遅くすることに寄与できるのです。

## その他の

### 口腔内の病気

口の中には、歯や歯の周囲組織の病気だけでなく、口腔粘膜、舌、唾液腺、あごの関節、扁桃組織等に色々な病気があります。この際治療にサナモアを併用することによって、期待した以上の効果を見ることがありますので、口腔内にも積極的に照射してみて下さい。

例えば、口腔内疾患の中で屢々遭遇する病気に口内炎があります。口内炎は虫歯の如き局所的な原因で起きることもありますが、原因を指摘できないことも少なくありません。中でも頑強に治療に対し抵抗して再発を繰り返す、慢性再発性アフタと呼ばれる口内炎があります。著者の経験例の中にも、サナモア光線療法によって10年以上再発を繰り返した口内炎が再発しなくなり、ほぼ完治した症例があります。対症療法では得られない効果を示しています。

虫歯と並んで極めて多い病気です。

## 歯槽膿漏（歯周炎）

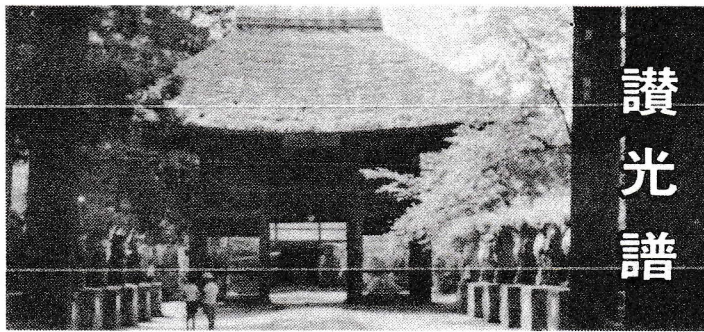
### の治療

軽減し、児童にも楽に施術でき、消毒効果がある。なお、虫歯のため歯冠部がこわれ抜歯せざるを得ない場合にも、サナモアは疼痛や腫れを減じ、肉芽の上りを佳良にします。

軽減し、児童にも楽に施術でき、消毒効果がある。なお、虫歯のため歯冠部がこわれ抜歯せざるを得ない場合にも、サナモアは疼痛や腫れを減じ、肉芽の上りを佳良にします。



## 讃光譜



青竜山茂林寺の「分福茶釜」

宇都宮義真撮影



### 健康と不健康

世の中に、善は実在するが悪は実在しないといわれている。つまり悪は元来実在するものでなく、善の存在しない状態が悪である。例えば、光と蔭との関係のようなもので、光は実在するが蔭は実在しない。故に、光で蔭を消すことはできるが、蔭で光を消すことはできない。蔭とは光のない状態のことである。このことは人間の体についても同じである。即ち、健康は実在するが不健康は実在しない。健康でないのが不健康である。健康が増進すれば不健康はそれだけ減少する。不健康になると病気になるのであり、不健康と病気とは同じものの両面と考えてもよい。

そこで、病気の治し方にも二通りの方法が生まれてくるのである。一つは専ら病気だけを攻める方法であり、一つは健康を増して不健康を除き、病気がとりつく余地をなくすることである。何れがよいかは場合によっても異なるが、後者の方が理想的とい

わねばならない。もしも不健康な場合には、その病気は亡びても、他の病気にとりつかれる恐れがあるのだから。

### 光がないと

### 病気がはびこる

光のないところに病気がはびこることは、暗いところに犯罪が行われるのと同じである。警

## 梅雨時の健康法

宇都宮 義真

察力を充実して罪人を検挙するのもよいが、公園や横町等の暗いところに街燈をふやして犯罪の発生を防止することはより根本的な解決法である。

サナモアが病気に効果があるのは、人々の健康を増し、不健康を除去する力が大いからである。細菌も光のない暗いところに好んで繁殖するのである。最近、予防医学とか環境衛生と

かいうことが強く叫ばれているが、地上の一切を浄化する太陽こそは健康の最大要素である。

### 梅雨時の健康

昔から梅雨の頃にはいろいろな病気になり易いことが経験的に知られている。勿論その原因はいろいろあるが、少くとも雨や曇りの日が多く、晴天でも水

喘息や百日咳や生理異常等もこの季節に多い。また細菌類はわが世の春でいよいよ繁殖に適するから、急性伝染病が流行し、皮膚病も多くなる。

### 地上の小太陽

要するに、梅雨時の季節病は、日光不足のために体力が低下したのが原因であるから最も日光を必要とするが、日光は容易に得られないのである。

こんな時に、サナモアが地上の小太陽として、天候や昼夜の別なく、梅雨時の健康法に大いに役立つのである。朝でも昼でも晩でも都合のよい時間に、五分でも十分でも体の一部を照射すると、全身の抵抗力がわき起こって恐ろしい病気を防ぐことができるのである。

### 「健康と光線」

昭和33年3月5日発行

―病気と不健康―

昭和35年6月5日発行

―梅雨時の健康法―

より要約した。



## 「子宮癌一闘病日記」

(続き)

E・S 45歳 女性

前号に上野先生から、E・Sさんの「子宮癌一闘病日記」の寄稿を受け掲載しましたが、二、三の方からその後の経過について質問がありました。此度、日記の続きを送って戴きましたので掲載します。

このため、「応用光線療法学」は休みます。

昭和59年11月8日(木)

少し固まった便が出た。のに固まりのようなものがあり、食事がしにくい。

11月9日(金)

上野先生にのどの治療をしていただく、とても気持がよい。腰が痛く、右腹だけでなく左腹も痛む。

11月10日(土)

食事がおいしい。胃の調子はよい。のどがつかえる。上野先生がお電話で励ましてくださる。

11月11日(日)

おなか痛む。腰から下が出てしまいそうで、足が前に出ない。

11月12日(月)

今日は身体が軽い。右横腹が少し張れている。子宮に何かがたまっているような気がする。夜11時頃、光線治療後に白いねばねばしたおりものが出た。

11月14日(水)

今日からDDカーボンにする。右腹部の帯状の太いしこりが波のようにビクビクと動く。足のひきつれがとて楽になった。夜11時に指示通り治療し、その後朝までグッスリと休む。

11月15日(木)

朝の目覚めがよく、おなかの痛みもほとんどなく快調。

11月16日(金)

便通もよくなる。

先生から鎌倉彫をいただく。お守りとして大切にします。

11月17日(土)

右横腹、右腰が痛い。つらい一日。

11月18日(日)

痛みもやわらぎ、気分よい一日を過ごす。

11月19日(月)

先生から「Sさん、よいお正月を迎えられそうね」と言われた時、やっと光が見えたうれしさで涙があふれ返事ができなかった。

11月23日(金)

朝から身体が重く気分がすぐれない。午後、後頭部から首すじにか

けて痛い。

11月24日(土)

朝から生理が始まる。今までほどは出血しないが、腰がはりさけそうに痛い。夕方までだらと過す。

11月25日(日)

朝6時起床。痛みがひどい、出血あり。

11月26日(月)

出血が少なくなり、気分も落ちつく。

11月30日(金)

出血止る。気分もよく食欲も出てくる。

12月1日(土)

身体が軽くなる。

12月2日(日)

友と会う。あれやこれやの質問せぬ。

「どんな手術をしたの」

「わい病気の、おだやかな笑みができるの」性格も変わったみたい。

12月9日(日)

今までの経過を一部始終話す。みんなびくつきし、先生のすばらしさに感心する。

12月9日(日)

昼ごろ、右乳首から黄色のねばねばしたものが出るのに気付く。痛みはない。

12月10日(月)

先生に昨日のことを話す。「出るほどよくなるから心配はいらない」と言われる。

12月11日(火)

身体が軽くなり気分もよい。

12月17日(月)

何人も何人も人が、上野先生の治療で快方に向っていく様

子をこの目で見て、自分のことと合わせて胸があつくなる。ゆうつような顔でできた患者さんが、笑顔で挨拶して帰った。

12月18日(火)

少々出血する。足がだるい。後頭部が痛む。目の前がくらくらする。

12月19日(水)

出血。母に世話をしてもう。

12月20日(木)

出血が続く。

12月25日(月)

出血止まる。気分もよい。

12月31日(月)

苦しい悲しい半年でした。思おもよめ病魔にとりつかれ、なんどこの悪夢から早く目が覚めて、今までの平穏な暮らしにならないものかと……。

でも、私はよき先生に出会うことができた、強い決意ができました。私たちは一人ひとり、神によって生かされているのであって、与えられた使命に忠実に生きる必要があると思うのです。良き生き方をしよう。大地に足をつけ、一日一日を大切に生きよう。

昭和60年1月1日(火)

なんと清しい朝でしょう。

全員で、新年のお祝いをしました。力一杯頑張ったおせち料理、今年は何もかも新しく生き直そうと誓いました。

1月3日(木)

少し痛みあり。食欲がない。

1月4日(金)

足がむくむ。毎日、一生懸命光線治療をする。

1月7日(月)

少々おりものあり。色はない。

1月10日(木)

気分もよくなり、柳原の恵比須様にお参りに行く。

1月17日(木)

下腹が張って痛む。夜中に激しく痛む。光線治療後、ねばねばしたおりものが出る。

1月18日(金)

出血中ぐらい。痛みは続く。

1月19日(土)

痛みは少しづつ和らぐ。

1月22日(火)

出血止まる。緑色のおりものが出る。

1月23日(水)

痛みはない。

1月24日(木)

お乳が痛む。背中がうずく。

1月28日(月) 周りの人から、見た目には全く病人と思えないと言われる。同じ一日を過ごすなら、嫌な苦しい顔を見せずに、明るいムードを発散し、気持よく一日を暮したい。

ガンとの闘いは、信念と気力が伴わないと駄目だ。

1月31日(木)

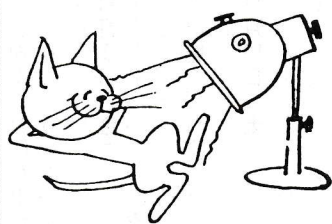
痛くても、回復への希望で一杯。

2月3日(日)

友人に「会う度に生き生きとしてきて元気そう。仕事でもしてるの?」と尋ねられる。

爪の色もきれいなピンクになってきた。





## 一治験例報告一

### ☆黒あざ

**症例** 17才 男性(高校生)  
**症状** 生まれてすぐから、顔

の右側の頬に黒あざあり。来所時のあざの大きさは、横一センチ、縦一・五センチである。これまでの経験に照らしても、黒あざは割に早く取れるのに、黒あざはなかなか取れにくいので、治療は大変根気を必要とする旨を話し、その上で治療を始めた。

**療法経過** 最初は三、四回通ってもらい治療法を指導した。患部は二号集光器を使用してBカーボンで十分、他にAカーボンを使い腹五分、腰五分照射した。ここで自宅治療に切り替え、その後約二年になる。

自宅では、患部には朝晩二回照射した。これまでに使用カーボンをBDCと替えたりしたが、患者は感心するほど熱心に治療を今日まで続けている。

治療を開始してから一カ月程すると、色は回りから少しずつ薄くなり、今では全く目立たなくなっている。

くなくなっている。  
(本人はもとより、御両親のよろこびは一人でした。)

神戸市 ウエノ光線療法

上野 貞氏報告  
TEL 〇七八三三三一一三五八

### ☆耳鳴り

**症例** 72才、女性  
**症状** 長い間、ひどい耳鳴りに悩む。その上、身体のおちこちも痛み、日常の仕事にも支障を来すようになり、困り果てて来所された。

**療法経過** BCカーボンにて、足裏、足首、膝、腰、背、肩、首の両側部、両耳の後方の骨の突出部、後頭部、喉を、ABカーボンにて腹部を、それぞれ気持のよい間、熱く感じるまで、二時間余り照射した。治療後、耳鳴りが止んだため、唯の一回

で不思議に効いたとびっくりしていた。

### ☆難聴

**症例** 62才、女性  
**症状** 難聴があり、何時も補聴器を使用している。また、先の耳鳴りの例と同様に、身体のおちこちが痛み。

**療法経過** 本例の光線の照射法は、先の例とはほぼ同じなので、ここには省略する。この例も一回治療しただけで、付添いの娘さんや私の話し声を補聴器なしではっきり聞けるようになったことをしきりに不思議がっていた。補聴器をはずしたまま帰宅した。

### ☆停留睪丸

**症例** 12才、男児  
**症状** 睪丸は、生まれた時に陰嚢内にあるのが正常で、胎児期に降りてくる通路の途中に

ているので、総合病院にて受診せよとの忠告。レントゲン検査の結果、大腸と小腸との結合部近くに、親指大の影が発見され、潰瘍の疑いがあるという。

入院まで二週間あったので、毎日、朝夕の二回、各一時間づつ、右腹部を中心にサナモアを照射。入院してからファイバースコープで検査をしたところ、何と、異状は全くないという。ある程度、サナモアの効果は予想していました。が、何の異状も無しには、本

当に驚きました。ありがとうございます。

とどまって陰嚢内にない場合、停留睪丸というのである。

本例は、約5年前に停留睪丸と診断され経過をみてきたが、降りてこないのて手術をすめられていた。しかし、母親は手術をしないで治したいと考えたため、治療は延び延びになっていったところに、光線療法をすめられ来院した。

**療法経過** ABカーボンを使用し、肛門十分、腰十分、下腹部十分、膝十分、足裏十五分、次におおむいて寝かせて(仰臥位)腸骨部に左右から各十分、左右の膝を内側および外側から各五分、合計九十五分照射。

治療を始めるに先立って、期間は2カ月ぐらいを目にすむね話しておいたが、3日目には睪丸を鼠蹊部で触れ、7日目には陰嚢まで降りた。念のため14日間治療し、睪丸が二ヶ陰嚢にあることを確認して中止した。

川崎市 東京光線治療院

海渡 一二三氏報告

TEL 〇四四一七二二一五〇六七

### ■編集者注

常識的に停留睪丸は手術が唯一の治療法と考えられています。が、今回の報告例のように12才児でもサナモアで治ったことは大変に示唆に富みます。以前、上野先生も5・6才児で停留睪丸の治療例を経験しておられます。この理由については、性ホルモン刺激療法で睪丸が降りることがあることから、ホルモン機能に賦活されたことが関係しているのかも知れません。

### 愛用者だより

#### ☆糖尿病

神戸市 榎本弥太郎

十年來の糖尿病で、最近胸や横腹、それに背中が痛み、夜も眠れない日が続いていました。医者には見てもらっていますが、痛みはどうしても取れません。家内が知人より、サナモアが良いと聞いて来ましたので、治療器を購入、自宅で治療を続けた結果、約一ヶ月で痛みは半分減り、夜も眠れる様になって来ました。

#### ☆潰瘍が二週間で消える

神奈川県中郡 西本一郎

病妻の看病をしているうちギックリ腰になりサナモアを集中的に照射したところ、一日で全快しました。しかし、排尿時に尿道が痛み、排便時にも下腹部が痛みました。直ちにホームドクターに相談したところ、尿に赤血球が混



アトピー性  
皮膚炎

アトピー性皮膚炎の皮膚発疹

近年、アトピー性皮膚炎と診断される例が著しく増えていきます。患者が子どもに多いこともあって、身内の人も戸惑っているようです。人生経験豊かなお爺ちゃん、お婆ちゃんも、可愛い孫が聞いたこともない病気に加ったのですから吃驚してしまいます。

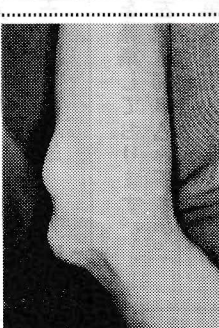
昔、聞かなかったのは当り前です。戦前、アトピー性皮膚炎なる病名はありませんでした。アトピーという耳新しい、その上、何だか難しそうと言葉は、戦後、アメリカから移入されたのです。

アトピーの近似語はアレルギーです。ただし、アレルギーが広く過敏性体質全般を表現しているのに対し、アトピーというのは遺伝性の過敏体質の意味に

使われています。これを分り易く言い換えると、多くの皮膚病の発病にアレルギーが関係しているからといって、アレルギー性皮膚炎では範囲が広すぎて病名になりませんが、アトピー性皮膚炎なら、生まれつきの体質がもとになって起きる湿疹と定義すれば病名になります。

微妙な違いがあるだけなのです。即ち、湿疹を始め大半の皮膚病は、アトピー性素因とかアレルギー体質と呼ばれ素質があって、これに外部環境からの刺激が作用して発病するのです。前者を内因、後者を外因と言います。

これに対し、主に外因が発病原因の場合、接触性皮膚炎と診断されますが、外因を避けることによって予防も可能です。さて、アトピー性皮膚炎の発疹は、乳児期には湿疹とほぼ同じでほとんど区別できませんが、年令とともに皮膚は厚く硬くなり、慢性湿疹の様になります。本症は、学童期には軽快する傾向がみられます。



痛風

肘関節部に  
認めた痛風結節

サナモアはお役に立ってますか。

## サナモア光線療法

## アラカルト

特にこれと言った病気のない方にも、健康法として役立ちますので活用して下さい。ところで今回は、「光線療法学」に掲載されていないために、よく問合せを受けるアトピー性皮膚炎と痛風をとりあげました。

医学博士

宇都宮光明

病名も変わります。例えば、乳幼児期に発病し、遺伝性のアトピー性素因を想定すれば、仮に遺伝関係が明らかでなくとも、アトピー性皮膚炎と診断され、単に湿疹になりやすい体質とすれば、湿疹と診断されます。この場合、外因は確定できないことが多いのですが、外部刺激によって病状が悪化することはよく

あります。これに対し、主に外因が発病原因の場合、接触性皮膚炎と診断されますが、外因を避けることによって予防も可能です。さて、アトピー性皮膚炎の発疹は、乳児期には湿疹とほぼ同じでほとんど区別できませんが、年令とともに皮膚は厚く硬くなり、慢性湿疹の様になります。本症は、学童期には軽快する傾向がみられます。

私は、医学生として昭和30年代前半に医学教育を受けましたが、当時は痛風は欧米人の病気で日本人には殆んどないと教わりました。しかるに現今、痛風は日本人にもよくある病気になりました。

痛風患者が激増した。これは歴然たる事実です。その理由についてはいろいろ取りざたされています。ここで問題になる点は、昔と今とどこが違うのかです。

昔は、痛風に対する医師の関心が低かったから、関節の痛みを関節炎とかリウマチと診断してしまい見落したとする説もありますが、これで激増を説明するのは無理があります。それよりも、日本人の病気の変貌、具



(五ページから続く)

体的に言えば、歯止めなく進む病気の欧米化の一環としてとらえる必要があるのではないでしようか。これには、未だ知られざる原因もあると思いますが、日常生活における変化を抜きには考えられません。即ち、食事は蛋白質や脂肪の多い高カロリー食になったのに、身体を動かしてエネルギーを消費することや、日光浴の機会が減ったのが激増の主な誘因ではないでしょうか。後述するように、光線浴には痛風を予防する効果もあるのです。

さて、痛風は関節に痛みのある、男性に多い病気です。特に、足の親指の付け根の関節に激痛があれば、まず痛風を考へることです。ちなみに、風に当たるだけで痛みが増すので痛風と呼ぶといわれています。

痛風患者の関節炎は、血液中に増加した尿酸が、関節内に結晶になって出てくるために起こります。尿酸は細胞内の核を作る蛋白、これをプリンと言いますが、このプリンの代謝過程にできる中間産物です。痛風の場合には、尿酸が沢山できるのに、尿への排泄が悪くなるので、血中の尿酸値が上昇するのです。しかし、尿酸が高くても痛風にならない人もいますが、理由はよく分りません。

ところで、痛風患者では気分

かないうちに腎臓に合併症を起こすことがあります。これは尿酸が腎臓に沈着するためで、痛風腎といいますが、進行悪化すると腎不全から尿毒症になることすらあります。従って、尿酸が腎臓に沈着するのを防ぐことが大切です。

痛風のサナモア光線療法は、前述のアトピー性皮膚炎と同じように、局所療法と全身療法とに分けて考えることと理解しやすくなります。

局所療法には、サナモアの鎮痛効果を利用します。関節炎を起こし、熱をもって赤く腫れて痛む患部に照射すれば、炎症を鎮め、痛みを和らげます。カーボンは、鎮痛効果に優れた赤外線に富むBカーボン単独かA Bカーボンを組合せて使用し、可及的多方向より照射してください。照射時間及び回数は、二十分～三十分、一日一回を目安にしますが、格別痛みの激しい場合には、鎮痛に時間を要しますので、一回に一時間、日に二回～三回照射することもあります。勿論、痛みが軽減すれば、長時間の照射は要りません。

次にサナモアの全身療法について考察します。サナモア光線は、生体のいろいろな機能を高め、腎臓に作用して利尿をつけ、尿酸の排泄を増加させる働きがあります。痛風の場合、この効果は特に重要で、長い目

でみると、関節痛の治療よりこちらの方が大切です。

全身療法は、A Bカーボンを、腹前後各十分、膝十分、足裏十分照射します。この治療は、関節症状の有無にかかわらず続けてこそ、病状管理に効力を発揮します。ピンカセンは、光線照射がプリン代謝に与える影響を検討し、尿中への尿酸の排泄が増えることを確かめ、痛風患者に光線照射をすることの効果を支持する確かな根拠と報告しました。また、ブラグス・モリターは、光線は常に尿の出をよくすると報告していますが、この作業は、腎への尿酸沈着を予防します。なお、この際、水を多めに飲むことは一層効果的です。

最後に注意事項を付言します。まず、痛風の食事療法についてですが、以前はプリンの多い動物性蛋白の摂取を厳しく制限しました。しかし、制限しても血液の中の尿酸は殆んど下らないことが明らかにされたため、食事制限は必要なしとする意見もあります。が、過剰に食べるのはいけません。

また、痛風は利用頻度の高い降圧剤や利尿剤で起こることがあります。もしも薬の服用中に痛風になったら、必ず医師に相談して疑いがあれば即刻中止しなければなりません。

サナモア



サナモア光線協会

趣意書

光線療法が、人々の健康に寄与し得ることは疑いないにも拘らず、現状の医療体系は薬物・手術に偏し、光線の効果についての一般の認識はなお不十分と言わざるを得ません。

このため、人々の健康を願うと共に光線療法について、啓蒙・普及活動を行う目的で、サナモア中央診療所内に、サナモア光線協会を設立しました。

サナモア光線協会は、設立の趣旨に賛同戴いた会員にて構成し、会員相互の懇親・体験発表・意見交換を通して、光線療法についての理解を深めるため「健康と光線」を季刊にて発行します。

サナモア光線協会

医学博士 宇都宮 光明

協会では、会員を募集しております。  
入会希望者は、左記宛御申込み下さい。

〒153 東京都目黒区目黒4-6-18

サナモア光線協会 TEL(03)七九三—五二八—  
七二二—五三三二